



D.REPORT

第94期年次報告書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

住まいのエコは、建材選びから。

だからDAIKENはエコ建材にこだわります。

DAIKENの歴史はエコ素材の歴史。創業当初から再生資源や未利用資源を活かした、環境発想のモノづくりを行ってきました。

そして2010年、DAIKENは、次世代を見つめたエコネクストへ。

資源循環型企業としてこれまで培ってきた独自のエコロジー技術を磨き、

エコ素材を核にお客様の視点に立った住み心地、健康快適性を追求します。

住まいの建材選びがエコにつながる、そんなエコ建材づくりを展開します。



未利用・再生資源

自然界に大量に存在している未利用資源シラス(火山灰) 製鉄時に出る副産物であるスラグ

植林木

天然の南洋材に代わる環境にやさしい植林木



再生資源

建築解体や製材所の廃木材から得られた木材チップ



DAIKENの環境発想のモノづくり

未利用・再生資源の循環利用を積極的に進め、持続可能な循環型社会の実現に向けたモノづくりを目指します。



エコ素材を核に新しい生活の価値を拡げる製品づくりへ。

株主の皆様へ To Our Stockholders

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに第94期連結会計年度(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)における当社グループの営業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度のわが国経済は、世界経済の悪化を背景に設備投資や個人消費の低迷、雇用環境の悪化など先行きの不透明感が強く、景気対策等により一部持ち直しの兆しが見られたものの、厳しい経済環境となりました。

住宅市場におきましては、住宅ローン減税の拡大、長期優良住宅への優遇措置、住宅エコポイント制度の施行などの各種施

策がありましたが、平成21年度の新設住宅着工戸数は77万5千戸と45年ぶりに80万戸を割り込み、前年度から25.4%減少する大変厳しい経営環境となりました。

このような経営環境のもと、当社グループは新設住宅着工戸数のみに依存しない事業構造を構築するため、成長が見込まれる市場・分野の開拓を進めると同時に企業体質の強化に努めてまいりました。成長市場・成長分野の開拓におきましては、エコ素材(インシュレーションボード、ダイロートン、MDF、ダイライト、ハードボード)を軸に、リモデル市場、非住宅市場、産業資材市場、海外市場における用途開発、顧客開拓を進めました。企業体質の強化につきましては、原材料コストの削減や生産性向上を図るとともに、総人件費をはじめとする固定費の削減に

グループ全体で取り組むことで損益分岐点の引き下げを進め、年度後半(10月~3月)の利益率は大幅な改善となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高1,409億36百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益30億10百万円(前年同期比64.4%増)、経常利益28億19百万円(前年同期比111.7%増)、当期純利益5億11百万円(前年同期比14.5%減)となりました。

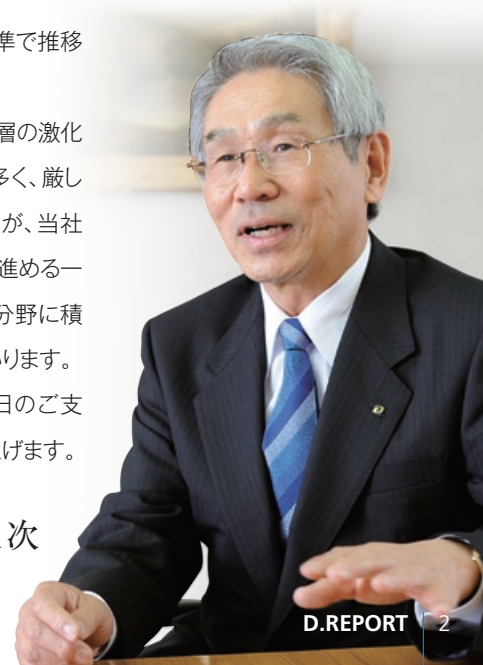
今後につきましても、政府が打ち出した住宅政策による需要の押し上げ効果は期待できるものの、依然として景気の先行きは不透明感が強

く、新設住宅着工戸数は引き続き低水準で推移するものと予想されます。

このような環境下で企業間競争の一層の激化や原材料価格の動向など懸念材料が多く、厳しい経営環境が続くものと予想されますが、当社グループは引き続き企業体質の強化を進める一方、エコ素材を中心に成長市場・成長分野に積極的に取り組み、売上拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

取締役社長
澤木 良次



住宅・建設資材関連事業

当社グループのコア事業であるエコ素材事業につきましては、ダイライトの売上は新設住宅着工戸数減少の影響を受けましたが、生産技術の改善により利益率を大きく改善しました。インシュレーションボードは用途展開を進め前連結会計年度並みの売上を確保し、ビル・店舗向けロックウール天井材が伸張したダイロートンは前連結会計年度を大きく上回る売上となり、収益の柱に成長しました。MDFはダイケンニュージーランド社を加えた海外3工場体制のもとで事業の拡大を進めました。

床材を中心とする内装材事業につきましては、生産拠点集約に伴い6月にWPC床材の生産ラインを新設し、生産性の向上と固定費の削減を進めました。製品面におきましては、国産針葉樹合板と特殊MDFを組み合わせたエコ台板採用の床材「フォレスハード」、新技術を導入することで意匠性を高めた高機能WPC床材「エクオスロッツ」「エクオスマラー」を発売し、市場ニーズに対応した品揃えの強化を図りました。

住機製品事業につきましては、国内生産拠点の見直しと受注品・特注品の納期短縮を進めるとともに、主力製品の室内ドアRⅢ

住宅・建設工事関連事業

建設工事関連事業につきましては、業務効率を高めることで原価低減を進めるとともに、複合受注と営業エリアの拡大による新規需要の開拓に努めましたが、ビル・マンション市場の長引く低迷の影響で工事金額は減少しました。

住宅工事関連事業につきましては、リモデル事業拡大のため組織改編し、リモデル需要の獲得を図りましたが、注文住宅、分譲一戸建の受注減少で工事金額が減少しました。

シリーズに「銘木調タイプ」を追加発売し、市場対応力を強化することでドア、収納、階段、造作材の拡販に努めました。

営業面につきましては、エンドユーザーに様々な機能を体感していただける首都圏の新たな情報発信基地として、9月に「DAIKEN東京ショールーム(秋葉原)」をオープンすると同時に、アライアンス先であるTOTO株式会社と共同で運営する「TOTO・DAIKEN札幌コラボレーションショールーム」をオープンしました。また、リモデル市場の開拓として、アライアンス先のTOTO株式会社、YKK AP株式会社と共同で環境配慮を軸とした「グリーンリモデル」を提案することで需要の掘り起こしに努めました。

この結果、この分野における当連結会計年度の売上高は1,246億31百万円(前年同期比4.5%減)、営業利益は30億73百万円(前年同期比88.1%増)となりました。

この結果、この分野における当連結会計年度の売上高は163億4百万円(前年同期比17.8%減)、営業損失は63百万円(前年同期は営業利益1億95百万円)となりました。



「リビングドア newRⅢシリーズ 銘木調タイプ」の施工例



住宅施工例

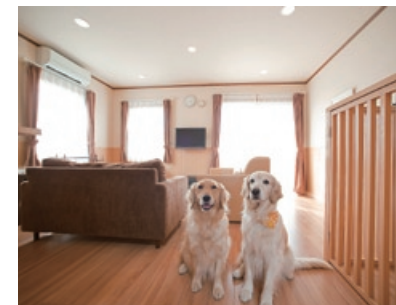
室内窓「マドモ」

室内の部屋と部屋、部屋と吹き抜け、部屋と廊下といった空間と空間の間の壁に窓を取り付けることで、光と風、そして明かりを室内に呼び込みます。今までになかった使い方と空間演出で、住まいに新しい心地よさを実現します。



リモデル用ペット共生床材「ワンパークフロアスリム」

犬の歩行に配慮した滑りにくさ、ペットの引っ掻き傷が付にくい耐傷性、よだれや粗相による変色がしにくい防汚性などを備えた高機能のリモデル用ペット共生床材。厚さ



4mmで既存の床の上から釘を使わずに接着剤や両面テープで施工できますので大がかりな工事は不要です。

「newRⅢシリーズ銘木調タイプ」

銘木といわれる高級樹種のウォールナット、チェリー、メイブルの木質感をシート上に表現する最新技術によって、リビングドア、クローク収納、玄関収納、造作材の普及グレードに木肌感漂う銘木調柄をラインナップしました。より上質な素材感あふれる空間を演出します。



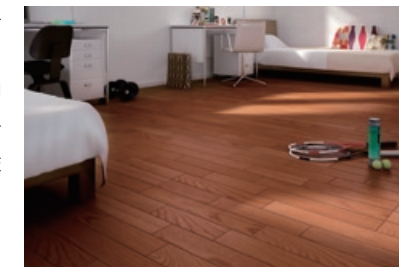
NEW PRODUCTS

注目の新製品 (2009.4-2010.3)

ネオテック耐傷性フローアー「フォレスハード」

一般的な天然木の南洋材合板が、環境保護によって極めて入手困難となる中で、国産針葉樹の植林木合板と特殊MDFを融合したエコ基材使用の耐傷性フローアーです。

すでに発売中の広葉樹植林木合板と特殊MDFを融合した「ダイハードアートLエコ」とあわせて、環境配慮フローアーのバリエーションを拡充しました。



TOPICS 1 東京ショールーム オープン!

2009年9月、秋葉原に「DAIKEN 東京ショールーム」をオープンしました。「体験する」「感じる」「選ぶ」をテーマに、DAIKENがこだわりの様々な製品を展示。防音ルーム、エコ素材コーナー、



来館者で賑わうショールーム

ペットコーナーなど10の体験コーナーをはじめ、暮らしにも地球にも快適なグリーンリモデルによる20畳のLDK空間を提案。また、約130本の室内ドアをはじめ、床材・壁材・天井材ほか多彩な商品をラインナップしています。



室内ドアの展示コーナー

TOPICS 2 「エコプロダクツ2009」にエコ素材を出展

2009年12月、東京ビッグサイトで開催された環境展示会「エコプロダクツ2009」に、インシュレーションボード(IB)等のエコ素材を出展しました。IBに保水機能を持たせて屋上や校庭緑化の保水板として活用する「緑化用保水ボード」など、エコ素材が持つ「環境性」と「機能性」が注目を集めました。



DAIKENブース

TOPICS 3 森林認証『PEFC-CoC認証』を取得 (認証書番号:SGS-PEFC/COC-1051)

2010年3月、DAIKENグループの床材関連組織において森林認証『PEFC-CoC認証』を取得しました。森林認証制度は、持続可能な森林の基準・指標に従って森林経営が行われていることを第三者機関が評価・認証する制度です。一昨年のFSC-CoC認証取得に加えPEFC-CoC認証を取得したことにより、世界的な2大認証制度の認証が揃いました。

TOPICS 4 地域とともに工場グリーンリモデルフェア in 高萩&井波

2010年3月に高萩大建工業株式会社(茨城県高萩市)、6月に井波大建工業株式会社(富山県南砺市)で、「工場グリーンリモデルフェア」を開催。社員の家族をはじめ地元の関係者を招いて、工場生産されている製品をはじめ、様々な機能性を持ったDAIKEN製品を見て・触れていただき、DAIKENのモノづくりへの理解を深めていただきました。



高萩でのフェアの様子

TOPICS 5 TDY大阪コラボレーションショールームをオープン(7月予定)

TOTO、DAIKEN、YKK APの3社共同によるコラボレーションショールームを、大阪・梅田に2010年7月30日<予定>グランドオープンします。すでに広島、高松、札幌の3ヶ所にコラボレーションショールームを開設しておりますが、今回、大都市圏では初めてとなります。新たなショールームでは、3社共同提案の「グリーンリモデル」(「CO₂削減」「長もち住宅」「健康配慮」の視点で暮らしも地球も快適になるリモデル提案)に基づくコラボレーション展示をはじめ、共同イベントなどを積極的に展開します。

国産間伐材を原材料に活用 林野庁補助事業で実証実験

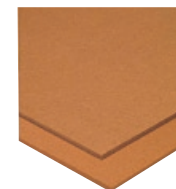
DAIKENは、国内の間伐材をチップ化して、主力のエコ素材・インシュレーションボードの原料にすることを目的に、林野庁の補助事業(※木質資源利用ニュービジネス創出モデル事業)を活用し、社有林等での実証事業を行いました。今後も、実証事業を継続し、林業再生、原料チップの安定確保と木材・枝葉を含めた総合利用のモデル確立を目指していきます。

また、針葉樹の葉は、特に抗菌・消臭効果が高いため、消臭力の高いペレットが得られることから、間伐時の林地に放置されることの多い枝葉残材を用いて、ペット用のトイレ砂として活用するための実証事業も行っています。

※「木質資源利用ニュービジネス創出モデル事業」とは、間伐の実施と間伐材の利用を一体的に実施するモデル事業の構築を目的に、公募により選定された団体にその事業費用の一部を支援することによって、新たなビジネスモデルの創出を図るもの。



間伐材を活用した木材チップ



インシュレーションボード



ペット用のトイレ砂



現地でのチップ化も実験

連結貸借対照表(要旨)

科目	前連結会計年度 平成21年3月31日現在	当連結会計年度 平成22年3月31日現在
資産の部		
流動資産	61,545	60,090
固定資産	63,480	63,730
有形固定資産	42,372	41,548
無形固定資産	2,027	1,945
投資その他の資産	19,080	20,236
繰延資産	55	40
資産合計	125,080	123,862

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 平成21年3月31日現在	当連結会計年度 平成22年3月31日現在
負債の部		
流動負債	65,547	61,366
固定負債	24,970	25,832
負債合計	90,518	87,199
純資産の部		
株主資本	33,441	33,288
評価・換算差額等	△1,921	△75
少数株主持分	3,042	3,449
純資産合計	34,562	36,663
負債純資産合計	125,080	123,862

連結損益計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
売上高	150,325	140,936
売上原価	114,145	104,325
売上総利益	36,179	36,610
販売費及び一般管理費	34,349	33,600
営業利益	1,830	3,010
営業外収益	913	871
営業外費用	1,411	1,062
経常利益	1,331	2,819
特別利益	1,863	150
特別損失	3,868	2,890
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△672	79
法人税、住民税及び事業税	1,027	1,141
法人税等調整額	△2,377	△1,603
少数株主利益	78	29
当期純利益	598	511

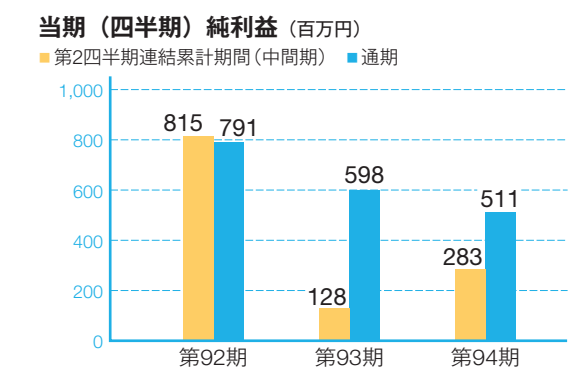
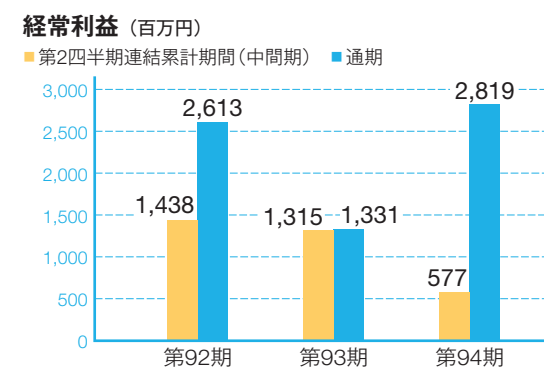
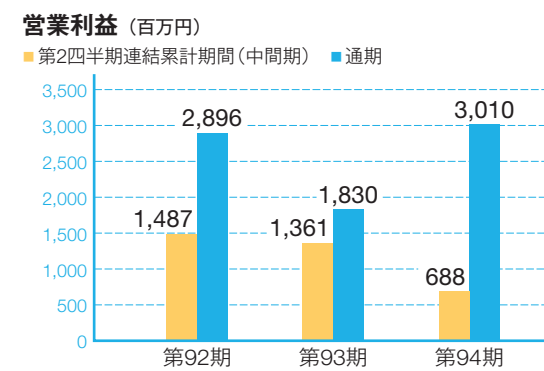
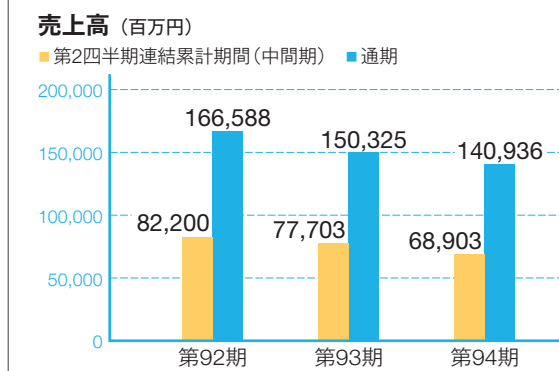
(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科目	前連結会計年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	当連結会計年度 平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,805	3,141
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,897	△3,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,793	1,135
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,916	1,199
現金及び現金同等物の期首残高	12,058	9,730
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	589	4
現金及び現金同等物の期末残高	9,730	10,935

(単位:百万円)

連結業績の推移



会社の概要 (平成22年3月31日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日

資本金 131億5,003万9,080円

本社及び事業所

本店 富山県南砺市井波1番地1

本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号

東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号

営業所 札幌、仙台、新潟、さいたま、東京、名古屋、金沢、大阪、広島、高松、福岡他

海外拠点 上海、シンガポール、ミリ (マレーシア)、ソウル

国内生産工場 井波大建工業株式会社《富山県南砺市》
岡山大建工業株式会社《岡山市》
高萩大建工業株式会社《茨城県高萩市》
三重ダイケン株式会社《津市》
会津大建工業株式会社《福島県会津若松市》
富山住機株式会社《富山県砺波市》
株式会社ダイウッド《三重県伊賀市》
株式会社ダイフィット《鳥取県倉吉市》
株式会社サンキ《富山県高岡市》
株式会社ダイタック《岡山市》
セトウチ化工株式会社《岡山市》

海外生産工場 大建工業 (寧波) 有限公司 (中国)
DAIKEN MIRI SDN. BHD. (マレーシア)
DAIKEN SARAWAK SDN. BHD. (マレーシア)
DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (ニュージーランド)

役員 (平成22年6月29日現在)

取締役

代表取締役社長 澤木良次

代表取締役副社長 藤井克巳

代表取締役専務 金坂和正

取締役 伊藤章倫

取締役 岩本真一

取締役 億田正則

取締役 長谷川泰之

取締役 山中健司

取締役 加藤智明

監査役

常勤監査役 林敏男

常勤監査役 加藤猛雄

社外監査役 宇塚俊夫

社外監査役 相原隆夫

執行役員

執行役員社長 澤木良次

執行役員副社長 藤井克巳

専務執行役員 金坂和正

常務執行役員 伊藤章倫

常務執行役員 岩本真一

常務執行役員 億田正則

常務執行役員 長谷川泰之

上席執行役員 山中健司

上席執行役員 吉原修一

上席執行役員 谷津正美

上席執行役員 島田睦博

上席執行役員 今村喜久雄

執行役員 北川隆雄

執行役員 畑島正志

執行役員 茨谷達夫

執行役員 冬木敏夫

執行役員 吉田弥寿郎

執行役員 菊竹信夫

株式の状況 (平成22年3月31日現在)

発行可能株式総数 398,218,000株

発行済株式の総数 130,875,219株

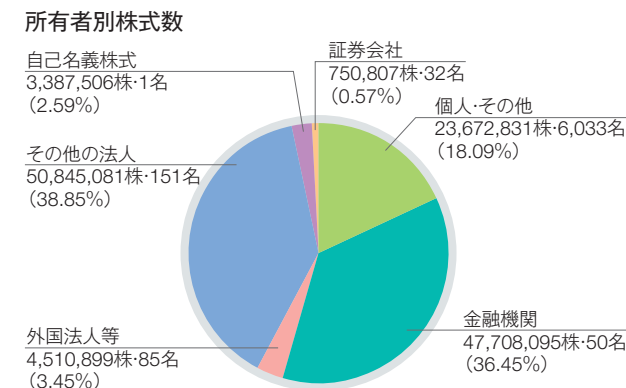
株主数 6,352名

大株主の状況 (平成22年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	31,948	24.41
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託)	5,638	4.31
株式会社三井住友銀行	4,934	3.77
住友生命保険相互会社	4,656	3.56
住友信託銀行株式会社	4,440	3.39
日本生命保険相互会社	3,409	2.61
住友林業株式会社	3,191	2.44
丸紅株式会社	2,821	2.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託)	2,633	2.01
三井住友海上火災保険株式会社	2,608	1.99

(注) 当社は自己株式3,387千株を保有しておりますが、上記の大株主には含めておりません。

株式分布状況 (平成22年3月31日現在)



当社のホームページでも
詳しい情報を開示しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業 検索



TOPページ「会社情報」の



「株主・投資家の皆様へ」
をクリックしてください。

情報サイトの一部



「株主・投資家の皆様へ」
では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、IRイベント情報などの豊富なデータがご覧いただけます。ご利用ください。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-176-417

(インターネット) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

【上場株式配当等の支払いに関する通知書について】

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、当社がお支払いする配当金について、配当金額や徴収税額等を記載した「支払通知書」を株主様宛にお送りすることになっています(同封の「第94期期末配当金計算書」が、「支払通知書」を兼ねることになります)。

なお、「支払通知書」は、株主様が確定申告をする際の添付資料としてご使用いただくことができます。

公告の方法 電子公告(当社のホームページに掲載する)
<<http://www.daiken.jp/>>

上場証券取引所 東京、大阪証券取引所



DAIKEN

<http://www.daiken.jp/>

大建工業株式会社